

音の輪・音の和



一般社団法人
兵庫県音楽療法士会

2018年3月発行 No. 8

『第15回世界音楽療法大会に参加して』



一般社団法人兵庫県音楽療法士会 理事長
松崎 聡子

2017年7月4日(火)から8日(土)まで『The 15th World Congress of Music Therapy=WCMT (第15回世界音楽療法大会)』が茨城県つくば市のつくば国際会議場で開催されました。WCMTは、3年に1度の頻度で開催されており、6年前の韓国大会以来、アジアでは2度目、日本では初開催となります。今回は、47ヶ国のべ2800人の参加があり、そのうち700名を超える人が海外からの参加でした。朝8時半から始まり、夕方6時過ぎまで発表やワークショップがおこなわれました。特に世界の音楽が体験できるワークショップは、どこも盛況でした。また、海外の療法士との交流もあり、さまざまな情報を得て、そして多くの刺激を受けた大会でもありました。

わたしは、このような機会に当会の活動について世界に発信したいと準備を進め、世界音楽療法連盟=WFMTにエントリーし、幸いにも採択されポスター発表できることとなり、大会最終日に発表をさせていただきました。発表タイトルは「PROFESSIONAL SIGNIFICANCE AND ROLES OF THE HYOGO MUSIC THERAPIST ASSOCIATION, JAPAN (兵庫県音楽療法士会の職能団

体としての存在意義と役割)」とし、会設立の背景や目的と県補助事業についての内容説明と成果、課題を挙げまとめました。発表内容の詳細についてここに記載することは、著作権の関係で差し控えますが、兵庫県補助事業として取り組んでいる「音楽療法定着促進事業」「東日本大震災復興支援事業」の2事業についての実績と課題について発表いたしました。

阪神淡路大震災の経験から、県独自の音楽療法士養成講座を1998年に開始し、2017年現在も継続している兵庫県。養成講座を修了し、知事認定を受けた「兵庫県音楽療法士」だけで組織されている当会ですが、県補助事業をおこなうようになってからは、さらに職能団体としての責任を持つこととなり、特に2012年に法人格を取得してからはその使命の大きさや重さを感じております。これらの補助事業は、兵庫県内の音楽療法普及啓発に繋がり音楽療法が定着しつつあることは明白です。そして幾多の困難を乗り越え、会員相互の協力をして事業を実施していくことは、組織運営にも良い影響をもたらしております。

世界大会に参加して、行政との協働で音楽療法普及啓発をおこなっている団体は、国内のみならず国外をみても珍しいことがわかりました。当会の活動がモデルケースになり、国内にとどまらず国外にも広がり、音楽療法のさらなる発展に繋がれば幸いです。



もくじ

- 『第15回世界音楽療法大会に参加して』 …… 1
- 音楽療法 普及・定着強化事業 …… 2
- 第6回 音・きずなコンサート …… 4
- 東北支援被災地訪問 …… 5
- 各支援団体主催の取り組みへの参画 …… 5
- 平成29年度研修会・事例研究会事業 …… 6
- 第6回山口陽雄記念賞授与式 …… 7
- 日野原重明先生を偲んで …… 7
- 第15回世界音楽療法大会 …… 7
- Social Workers Day 2017 in Hyogo …… 8
- 楽器紹介 & 音楽の豆知識 …… 8

音楽療法 普及・定着強化事業

事業の3つの柱

お試し体験補助事業

1施設2回までの
お試し体験への補助

音楽療法定着促進事業

継続実施に対する補助

県内参加型コンサート開催事業

コンサートの実施



【お試し体験補助事業】

「音楽療法って何をやるの?」という声に答える形で、従来の定期的に音楽療法を実施することに不安を感じられている施設に向けて、「まずは一度、音楽療法を体験していただく」という趣旨で導入されました。

まだ音楽療法を実施した事のない施設に対して、1施設2回までですが、単発でご利用いただけるという利点のある補助事業です。

ご利用には一定の条件がありますが、施設行事に組み込んでいただくなど無理の少ない形で音楽療法の楽しさを体験していただいた上で、定期的な活動につなげていきたいと思っています。

今年度は、広報が行き届かず実施件数は少ない状態でしたが、問い合わせは日々増えていきますので、今後、利用が伸びていく事業だと感じています。

① お試し体験補助事業

対象施設 ▶ 音楽療法を導入した事のない施設

補助内容 ▶ 1施設につき期間内2回まで(複数の種別での体験希望の方はご相談ください)
音楽療法士の謝金が1回あたり5,000円以上の時、1回につき2,500円の補助
音楽療法士の旅費(交通費)で2,000円を超えた分の1/2を補助
(但し、北播磨、西播磨、但馬、淡路地域の施設で地域外の療法士が実施した場合に限ります)

補助期間 ▶ 平成30年4月1日～平成31年3月31日(1施設2回まで)

【音楽療法定着促進事業】

医療・福祉・教育施設等に対して、音楽療法の実施経費の一部を支援させていただきます制度です。

② 音楽療法定着促進事業

対象施設 ▶ 施設利用者を対象とする音楽療法士による音楽療法を、概ね週1回(月2回以上)で3か月以上継続して実施する兵庫県内の医療・福祉・教育施設等

補助内容 ▶ 音楽療法士の謝金が1回あたり5,000円以上の時、1回につき2,500円の補助
音楽療法士の旅費(交通費)で2,000円を超えた分の1/2を補助
(但し、北播磨、西播磨、但馬、淡路地域の施設で地域外の療法士が実施した場合に限ります)

補助期間 ▶ 平成30年4月1日～平成31年3月31日(概ね6回～40回まで)



【県内参加型コンサート開催事業】

平成29年度新規事業として、来場者の皆様にも参加していただける「県内参加型コンサート」を企画しました。

多くの県民の皆様幅広く「音楽療法の体験」をしていただきたいという思いから、延べ90名の音楽療法士がそれぞれの地域に向向き、36の会場で開催しました。

本年は初めてでもあり、開催地域を限定(東播磨、西播磨、北播磨、丹波、但馬、淡路地区)して開催しましたが、2,200人余りのたくさんの県民の人に参加をしていただきました。

そして、次年度も「是非継続してほしい」というお声を沢山いただいております。

参加された人はゼロ歳の赤ちゃんから、元気いっぱいの子供たち、子育てで少し疲れているママやパパたち、忙しく働いておられる人たち、お元気な高齢の人たち、100歳近い人まで年齢層も幅広く、また参加者人数は20人から300人近い人数での開催となりました。

人数に加えて、開催地それぞれの地域性も加わり会場毎で雰囲気も異なり、参加された人たちが盛り上げてくださる場面も多くありました。参加された人が主役になり、作り上げていくコンサートを実感して下さったのではないかと思います。

30年度も障がいのある人もない人も、若い人も高齢の人も一緒に「音楽」の中で、こころと身体をほっとさせる時間を共有できる「県内参加型コンサート」を開催地限定ですが、各地で開催します。日程等は決定次第お知らせいたします。ご興味のある団体様はお問合せ下さい。

③ 県内参加型コンサートを開催いたします!

開催地、日程は決まり次第HPなどでお知らせいたします。ご興味のある団体様はお問い合わせください。
平成30年度は、丹波・但馬・淡路・東播磨・中播磨・西播磨・北播磨地域での開催を予定しています。



お問合せ先 メール sokushin@hmta.jp
FAX 078-261-9602

東日本大震災復興支援事業

第6回 音・きずなコンサート

紅葉の見ごろとなる中、あいにくの秋雨となった10月15日(日)、「第6回音・きずなコンサート」が兵庫県中央労働センターで開催されました。2017年は神戸開港150周年に当たり、テーマを「海からのおくりもの」としました。ドラが鳴り『アメリカン・パトロール』のクラリネット五重奏からスタートです。そしてイルカの動画をバックに、ゆったりとしたジャズ曲『グリーン・ドルフィン・ストリート』が流れます。リラックスした雰囲気の中、一転してフラダンサーが登場して『こんにゃく〜ん』が始まり。会場の皆さんも思わず立ち上がって踊られていました。「アローハ」とダンサーにお別れした後、コマーシャルでお馴染みの三太郎が現れ『海の声』を演奏しました。最後は『みんながみんな英雄』の演奏に会場の皆さんには鳴子、鈴を合わせて頂き、手話で歌いました。

毎回楽しみにして来て下さる方、初めての方も、次第に惹き込まれていき、会場全体が音で繋がったようなひと時でした。足元の悪い中、ご来場くださいました多くの皆さま、関係者の皆さまに感謝申し上げます。

M.M



東北支援被災地訪問

東日本大震災後は毎年、兵庫県から補助金を受け、被災地支援として兵庫県音楽療法士会から療法士が現地を訪問しています。平成29年度は6月、9月、10月の3回、3名ずつが宮城県石巻市と福島県いわき市を訪問しました。

10月は台風21号の影響で、3日間の予定が2日間になってしまい、期待して待ってくださった施設に行けなくなるというアクシデントもありました。

今年で7年目になり、震災直後とは状況が違ってきていると感じる場面もありました。震災直後に訪れた施設は小高い山の上にあったのに、津波対策で海岸近くの土地が盛り土でかさ上げされた為、平地と高さがほぼ同じになっているのを目の当たりにし、7年という歳月を感じました。ブルドーザーが行き来する中、復興工事は進めけれど、失ったコミュニティの中で人と人のつながりを感じるのが難しいという話を聞くと、無くしたものを取り戻す



きっかけづくりに、音楽を介した空間で何かお手伝いできることがあるのではないだろうかと思いました。音楽療法終了後「毎月来てほしい」「Aさんの嬉しそうな表情初めて見た」などの声も上がっていました。現地に赴かないとわからないことがあり、そのことを伝えることも大事な役割だと実感し、『音楽』で人と心をつないで行くことの大切さを感じました。

ET

各支援団体主催の取り組みへの参画

当会は、兵庫県臨床心理士会ひょうごHEART、TKサポート等で組織する『あしたの集い』に協力団体として2012年より参画しています。この『あしたの集い』では、東日本大震災の影響で関西にいられている方を対象に2~3ヶ月に1回の頻度でイベントを開催し、参加者の交流をはかっています。平成29年度は、神戸街歩き、神戸空港見学、青少年科学館見学、クリスマス会、異人館巡りを実施しました。



神戸空港見学 (H29.7.30)



青少年科学館見学 (H29.10.28)



平成29年度研修会・事例研究会事業

4月 研修会

田島 隆氏

タンバリン奏者

「タンバリンによる自己の確認と治療」

7月 公開研修会

小西 行郎氏

同志社大学赤ちゃん学研究センター
センター長・教授 小児科医
兵庫県立リハビリテーション中央病院
子どもの睡眠と発達医療センター 参与

「ヒトはリズムで生きている」

9月 事例研究会

小原 依子氏

日本音楽療法学会認定音楽療法士
神戸女子大学 教授

「コラージュ療法とPOMS体験」

12月 事例研究会

後藤 浩子氏

日本音楽療法学会認定音楽療法士
臨床心理士

「メンタルヘルスを保つための
音楽療法のプログラムについて再考」

2月 公開研修会

岡崎 香奈氏

日本音楽療法学会認定音楽療法士
米国・英国公認音楽療法士
ノードフロピンス音楽療法士（教員資格取得者
世界音楽療法連盟資格認定委員）
神戸大学大学院人間発達環境学研究所 准教授

「音楽療法活動における臨床的な音の使い方
～実際の場面をもとに」

6月 事例研究会

那須 貴之氏

日本音楽療法学会認定音楽療法士
坂本病院音楽療法課

「高齢者・障害者リハビリテーションにおける
音楽療法の実践」

8月 公開研修会

都村 尚子氏

関西福祉科学大学教授

「実践から学ぶバリデーション」

11月 公開研修会

二俣 泉氏

日本音楽療法学会認定音楽療法士
東邦音楽大学 准教授

「音楽療法士とはどういう存在か
～研究と臨床との関わり～」
「神経発達障害の子どもへの音楽療法のために
創作された楽曲～楽器を用いた活動の分類と、
その効果的な使用法～」

1月 公開研修会

奥村 由香氏

日本音楽療法学会認定音楽療法士
木沢記念病院

「症例からひも解く医学的音楽療法」

3月 研修会

赤堀 富子氏

一般社団法人クルレ代表

「楽器(ツバーノ)制作」

第6回山口陽雄記念賞授与式



山口陽雄賞とは、音楽療法活動の継続・普及・発展に功績のあった音楽療法士を表彰するものです。平成30年1月28日、審査委員長の阿部恩氏が審査

講評を述べられ、佃誉子会員が授与されました。医療法人社団向陽会理事長山口紅子氏より、賞状と副賞が贈られました。山口氏より「沢山の方がお集まりの中で、この表彰を受けられて本当にありがとうございます。一所懸命にされた方にこのように表彰を差し上げたく思いますので、皆さんも頑張って本当に身体の弱い方、心の弱い方の為に頑張ってくださいをお願いいたします」と、お祝いの言葉を述べられました。受賞された佃氏は「本日はとても名誉な賞を頂戴してありがとうございます。この賞を頂戴出来たのは諸先生方、諸先輩方の導きがあり、また共に学んできた仲間のおかげがあったからだと思います。本当にありがとうございます。山口陽雄先生のお言葉を胸に、私らしくこれからも精進していきたいと思っています。本日はどうもありがとうございました。」と謝辞を述べられました。

N.N

日野原重明先生を偲んで

平成29年7月18日、日本音楽療法学会名誉理事長である日野原重明先生が105歳で永眠されました。

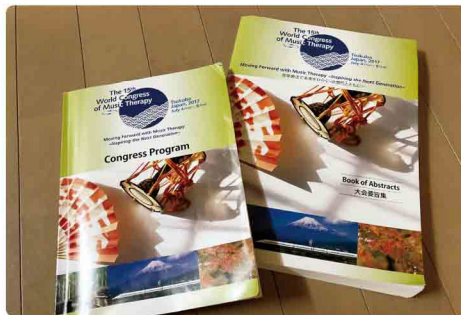
日野原先生は、平成13年日本音楽療法学会発足以来、16年間にわたり理事長として、また平成28年4月からは名誉理事長として日本の音楽療法の普及発展に多大な貢献をされました。小中高と神戸で過ごされた先生ですが、小学4年の時にご病気のため休学され、その療養中にアメリカ人宣教師の奥様からピアノを習い始め、その時に音楽に励まされ癒された

経験から「音楽の力」を信じるようになったとお聞きしています。当会には平成18年の「5周年記念式典及び特別講演会」においてご講演を頂きました。今後は先生のご遺志を継ぎ精進を重ねていきたいと思ひます。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

S.M

第15回世界音楽療法大会



2017年7月4日(火)から8日(土)にかけて、日本で初めての音楽療法の国際的な大イベントとして第15回世界音楽療法大会が、つくば国際会議場(エポカルつくば)で開催されました。

大会テーマは「音楽療法で未来をひらく～次世代と共に～」初日にプレセミナーと、夜には開会式、全体企画や発表の場は翌日からの4日間となりました。会場のエントランスホールの「七夕飾り」が参加者を出迎え、開会式では日本伝統芸能の「馬簾太鼓」

「三番叟」が披露され、オープニングを飾りました。日本文化体験プログラムとして「茶道・華道・書道」、懇親会では「七夕祭り」「神楽」「鏡開き」「盆踊り」が用意され、立食で楽しめる日本食、ベジタリアン対応の食事も準備されて、大会関係者の心遣いに頭が下がりました。

発表数は口演含め計506本となり、多くの日本の音楽療法士が「日本ならではの音楽療法の現状、課題など」を世界各国から参加された方たちに向けて英文で発表しました。当会では、松崎聡子理事長が「兵庫県音楽療法士会の職能団体としての存在意義と役割」をポスター発表し、また「兵庫県が取り組む音楽療法士養成事業の紹介」として、佃誉子会員、靱本尚子会員が口頭発表しました。これからを担う学生による学生のためのプログラムも充実していて、日本の学生も積極的に参加する姿に頼もしさを感じました。大会要旨集の日本音楽療法学会名誉理事長の日野原重明先生の寄稿に記載されていた「音楽は何よりも世界に共通する心と心をつなぐ力をもっています」という事を痛感できる5日間となりました。

Y.N

Social Workers Day2017 in Hyogo

平成29年7月9日(日)にデュオこうべ・デュオドームで開催された「Social Workers Day 2017 in Hyogo」(兵庫県社会福祉士会主催)にて、今年度も音楽療法のデモンストレーションを行いました。

壺から出られなくなった「へび」の元気を取り戻したくて、音楽を使い参加者の皆さんと一緒に世界一周旅行を疑似体験をするプログラムを行いました。各国の特徴ある楽器で曲を奏でることで、一瞬のうちにその世界へと思いが馳せます。

へび使いが使うブーンギーというインドの笛の音に思わず笑ってしまう姿が見られました。鈴を付けたローブを皆で持ち、身体を動かすと会場に一体感が生まれました。

最後に「ふるさと」を全員で合唱すると「へび」も元気を取り戻し、会場も和やかな雰囲気になりました。「ココロの開港 ～笑って 動いて 楽しんで～」というコンセプトに皆さんのココロも開かれましたでしょうか。

S.N



楽器紹介 & 音楽の豆知識



♪【楽器紹介】

スプリングドラム

比較的、近代になって作られた効果音楽器です。インドのパーカッションのトルリク・グルトッフにより考案されました。

スプリングドラムの「スプリング」とはバネのことを指し、バネ太鼓とも呼ばれます。また、バネ独特の反復する不思議な振動が、嵐の音のように聞こえることから「サンダードラム」「ストームドラム」という呼び名もあります。

楽器の構造は、筒型の両面太鼓の片側にバネがついていて、鼓面から延びるバネを揺らしたり、降ったりするとバネが振動し、嵐や雷のような音になります。

基本は嵐のような音ですが、バチを使ったり、鼓面を指で叩いたりして、工夫によっては色々な独特な音が出る創造性あふれる楽しい楽器です。



スプリングドラム

♪【音楽の豆知識】

ア・カベラの語源とは？

伴奏をつけない人間の声だけの合唱(重唱)を、ア・カベラの曲とか、ア・カベラで歌うといいますが。言葉の意味はイタリア語で、「礼拝堂風」または「聖堂風」という意味です。広義には楽器の伴奏を供わない合唱(重唱)音楽に関する用語です。つまり、無伴奏曲ということになります。ローマ・カトリック教会では、礼拝のとき讃美歌を歌う唱隊には伴奏をつけなかったため、そこから、無伴奏の合唱曲やその演奏をア・カベラというようになりました。

19世紀以降、今日一般の用語法では、楽器伴奏を供わない声楽曲すべてをア・カベラと呼ぶようになりました。(楽器を起用しても礼拝堂の作曲という意味で、ア・カベラの言葉が用いられる例もあります。)

『人間の声は最高の楽器』といわれます。磨きぬかれた人間の声が、美しいハーモニーとなって聴衆の心を惹きつけます。

ダークダックス、ボニージャックスなどの男性四重唱団による、ジャズのスタンダード・ナンバーなどのア・カベラも宗教曲とは一味も二味も違った美しさがあります。

参考文献 長田 暁二 著

「知ってるようで知らない音楽おもしろ雑学事典」より



一般社団法人 兵庫県音楽療法士会

〒651-0062

神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6F

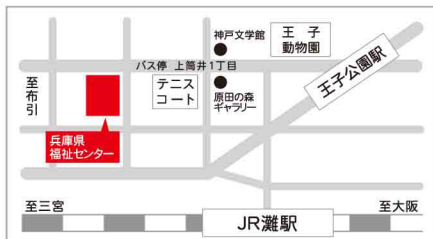
一般社団法人兵庫県音楽療法士会事務局

TEL(078)261-9601 FAX(078)261-9602

【アクセス】

JR灘駅・阪急王子公園駅下車徒歩約10分

神戸市バス(90・92系統)上筒井1丁目バス停下車すぐ



兵庫県音楽療法士会では音楽療法に関すること、会の活動内容や公開研修会の案内などをご覧いただくことができます。この度、メールアドレスとURLが新しくなりました。当会のHPをご覧ください。

E-mail:jimukyoku@hmta.jp

http://hmta.jp/



今号では、音楽療法普及・定着強化事業について紹介しております。H29年度は新しく「県内参加型コンサート開催事業」を実施しました。より多くの方が音楽療法を身近な存在として取り入れていただくことを願っています。広報誌発行にご協力ご尽力いただきました皆様にも心より感謝申し上げます。

白川 滝美子